

授業科目

身体障害作業療法学演習I

担当教員名 貝淵 正人、今西 里佳	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	◎

授業の概要

脳血管障害、頭部外傷、脊髄損傷、難病、がんなどに対するリハビリテーションを説明します。
上記の疾患への具体的な作業療法の介入を考えます。
臨床現場の先生を招聘し、よりリアリティのある作業療法の講義をいただきます。

授業の目的

脳血管障害や頭部外傷等の脳障害および脊髄障害に対して作業療法を実施するために、その病態を理解した上で、作業療法の目的や評価技法、治療・指導方法を習得し、さらに演習によって技術を身につける

学習目標

1. 脳障害に対する作業療法の目的・評価・治療技術を説明することができる
2. 脳障害に対する作業療法の目標・治療内容について考えを述べるすることができる
3. 脊髄障害に対する作業療法の目的・評価・治療技術を説明することができる
4. 脊髄障害に対する作業療法の目標・治療内容について考えを述べるすることができる
5. 難病に対するコミュニケーション支援・IT支援を知り、その方法を述べるすることができる
6. がんに対する作業療法の目的・評価・治療技術を説明することができる
7. がんに対する作業療法の目標・治療内容について考えを述べることができる
8. 摂食嚥下障害に対する作業療法の目的・評価・治療技術を説明することができる
9. 摂食嚥下障害に対する作業療法の目標・治療内容について考えを述べることができる
10. 吸引の目的を説明することができる
11. 吸引の方法を述べることができる

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	脳障害患者の作業療法の視点	講義・演習	貝淵 正人
2	脳障害患者の利き手交換に対する介入	講義・演習	貝淵 正人
3	難病に対するコミュニケーション支援・IT支援	講義・演習	貝淵 正人
4	難病に対するコミュニケーション支援・IT支援	講義・演習	貝淵 正人
5	がんの病態、評価、介入	講義・演習	今西 里佳 他
6	がんの病態、評価、介入	講義・演習	今西 里佳 他
7	嚥下障害に対する介入（吸引の基礎知識）	講義・演習	今西 里佳 他
8	嚥下障害への介入（吸引実技）	講義・演習	今西 里佳 他
9	摂食嚥下障害の病態、評価、介入	講義・演習	今西 里佳 他
10	摂食嚥下障害の病態、評価、介入	講義・演習	今西 里佳 他
11	脊髄障害の病態、評価、介入（合併症管理・排泄管理）	講義・演習	今西 里佳 他
12	脊髄障害の病態、評価、介入（ADL・IADL）	講義・演習	今西 里佳 他
13	脊髄障害の病態、評価、介入（ADL・IADL）	講義・演習	今西 里佳 他
14	脊髄障害の病態、評価、介入（動作訓練および装具等）	講義・演習	今西 里佳 他
15	脊髄障害の病態、評価、介入（環境調整・社会復帰）	講義・演習	今西 里佳 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	福祉用具・住環境整備の作業療法	玉垣努編		2013年	3,800円+税	
参考書	身体機能作業療法学 第2版	岩崎テル子編	医学書院	2011年	4,935円+税	

評価方法

演習に意欲的に真面目に取り組む授業態度やレポート提出期日遵守を重んじます。
成績は8割が定期試験結果で、2割が授業態度およびレポート提出等で判断します。

履修上の留意点

外部講師による演習があります。

オフィスアワー・連絡先

貝淵：火・木 14時～17時 (連絡先) kaifuti@nuhw.ac.jp
今西：月・火 12時15分～14時 (連絡先) imanishi@nuhw.ac.jp
授業に関する質問や問い合わせがある場合には、メールアドレスまでご連絡ください。